| 学校番号 | 204 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地歴公民 | 科目 | 地理総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 地理総合　世界に学び地域へつなぐ（二宮書店）、新詳高等地図（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 地理総合ワークブック（二宮書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

　情報化社会の中で世界中のさまざまな情報をインターネットなどによって瞬時に手に入れることが出来ます。その中で、地球全体や世界の諸地域に関する体系的な知識の重要性はより重みを増していると思われます。そこで先ず人類の生活舞台である地球表面に関する広範囲な知識を獲得し、その上でさまざまな国や地域の自然環境と人間生活との関りを客観的、俯瞰的に考察することで広い地理的視野を獲得することをめざします。

　最初に地球全体の理解を求め、さらに世界各国、各地域の特色を自然環境と関連づけながら考察を深めていきます。その中でさまざまな違いや共通性を見つけてください。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地球の形状や位置、緯度・経度、時差などの基礎的事項を理解するとともに、地形や気候の多様性、世界各地域の自然環境や文化的特色、人口・食料問題、日本の自然環境と災害などについて、地理的条件との関連の中で理解する。
また、地図や統計資料などを適切に活用し、地理的事象に関する情報を効果的に調べ、整理し、まとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
地形や気候、自然環境と人間の生活との関係、地域ごとの生活様式や社会的課題について、地域差や共通性、空間的な広がり、相互の関連などに着目して、多面的・多角的に考察する力を養うとともに、人口問題や食料問題、自然災害と防災などの現代的課題について、地理的な視点から構想し、その内容の根拠を明確にして説明したり、他者と意見を交流したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
地球環境や地域社会に関心を持ち、地理的事象を主体的に理解しようとする態度を養うとともに、世界各地の多様な生活様式や文化を尊重し、相互理解を深めようとする姿勢を身につける。
また、自然災害や人口・食料問題などの課題について、自らの生活とのつながりを意識し、よりよい社会の実現に向けて行動しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ○世界各国、各地域についての基本的な知識を獲得し、客観的に世界を認識することができる。また基本的な地理的用語が身についている。<br><br>○各種地図を判読し、そこからさまざまな情報をよみとることができる。 | ○地図情報を地理的事象との関りから分析・考察・解釈し、そこから法則性、地域による違いを見出すことができる。<br><br>○現代の諸課題を地理的視野から考察し、そこから課題の解決への道筋を考え、よりよい地球社会のあり方を環境や文化など多面的な観点から提言することができる。 | ○地理的事象や現代的諸課題に興味・関心を持ち、自分自身の生活との関りからそれらを位置づけ、結びつけることができる。<br><br>○地理の学習で得た知識・技能・ものの見方を、社会生活や現代的諸課題の解決に結びつけようとする。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 地球儀と地図 | 地球上の位置と地上の現象<br>経度の違いと時差 | a:地球を球面でとらえ位置・方位・距離・時差・季節を正しく理解できたか。<br>b:緯度・経度の関係を、地図を用いて考察できたか。<br>c:球体としての地球の姿を地図・写真などから積極的に理解しようとしたか。 | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>地図作業 | 提出物<br><br>質問に対する応答 |
| | 地図と地理情報システム | 地図の種類<br>地理情報システムの利用 | a:地図の種類と基本的な技法を理解したか。<br>b:地図を用いて、地域間・国家間のさまざまな事象を考察できたか。<br>c:地図に関心をもち、地図からさまざまな情報を読み取ろうとしたか。 | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>地図作業<br><br>パフォーマンス課題 | 提出物<br><br>質問に対する応答 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 現代世界の国家と領域 | 国家の領域と国境<br>地図から見る日本の位置と領域 | a:領域と国境を理解したか。<br>b:地図を用いて、領域や国境に関するさまざまな事象を考察できたか。<br>c:日本の領域に関心をもち、地図からさまざまな情報を読み取ろうとしたか。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>地図作業 | 提出物<br>質問に対する応答 |
| | 世界の地形と人々の生活 | 生活と地形の関り<br>河川がつくる地形と人々の生活<br>海岸の地形と人々の生活<br>氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活 | a:多岐にわたる地形の特徴や成因、名称を理解したか。<br>b:地形と人間生活の関係を客観的に考察できたか。<br>c:地形に関心を持ち、さまざまな風景や特徴に関心を持ったか。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>地図作業 | 提出物<br>質問に対する応答 |
| | 世界の気候と人々の生活 | 生活と気候の関り<br>熱帯の気候と人々の生活<br>乾燥帯の気候と人々の生活<br>温帯の気候と人々の生活<br>亜寒帯・寒帯の生活と人々の生活 | a:多岐にわたる気候の違いや特徴、用語を理解したか。<br>b:気候と人間生活との関りを客観的に考察できたか。<br>c:気候に関心を持ち、日常生活と密接に関ることに気付いたか。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>地図作業<br>パフォーマンス課題 | 提出物<br>質問に対する応答 |
| 2学期 | 多様な生活文化と地理的環境 | 東アジア<br>東南アジア<br>南アジア<br>中央アジア・西アジア・北アフリカ<br>サハラ以南のアフリカ<br>ヨーロッパ<br>ロシア<br>アングロアメリカ<br>ラテンアメリカ<br>オセアニア | a:世界各国・各地域の基本的な地名や自然・文化的特徴を理解したか。<br>b:自然環境と文化の関りから、さまざまな地域の人間生活の特色を考察できたか。<br>c:世界の生活様式の違いに関心を持ち、進んでその違いを理解しようとしたか。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>地図作業<br>パフォーマンス課題 | 提出物<br>質問に対する応答 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 人口問題・食料問題 | 人口の増加と少子化・高齢化<br>地域で異なる人口問題<br>飢餓と飽食 | a:国別・地域別の人口や食料に関る状況を客観的に理解できたか。<br>b:人口・食料問題に関するデータを、グローバルな視野から解釈したか。<br>c: 人口・食料に関するさまざまな問題の解決に向けてその方向性を考えたか。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>地図作業 | 提出物<br>質問に対する応答 |
| | 自然災害と防災 | 日本の自然環境<br>地震・津波や火山活動による災害と防災<br>気象災害と防災 | a:日本の国土がさまざまな自然災害に見舞われやすいことを客観的に理解したか。<br>b:ハザードマップなどから、具体的にどの地域でどのような災害の恐れがあるかを考察したか。<br>c:自然災害に対する意識を高め、具体的な対処法について考えたか。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>地図作業<br>パフォーマンス課題 | 提出物<br>質問に対する応答 |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度